

第 110 回 科学技術部会	資料3-2
令和元年5月24日	

次期医療分野研究開発推進計画案について

現在、内閣官房健康・医療戦略室において「次期の医療分野研究開発推進計画」について検討を行っているところであり、現在の検討状況については以下のとおりです。

<資料目次>

- ① AMED研究事業におけるプロジェクトについて（2019年度） 1
- ② 次期の医療分野研究開発推進計画 プロジェクト別の目的（案）（「健康・医療戦略推進専門調査会（第19回）資料4-2」） 2

AMED研究事業における現行のプロジェクトについて（2019年度）

（厚生労働省における研究事業のみ記載）

1、**オールジャパンでの医薬品創出プロジェクト**

創薬基盤推進研究事業
臨床研究・治験推進研究事業
医薬品等規制調和・評価研究事業
創薬支援推進事業

2、**オールジャパンでの医療機器開発プロジェクト**

医療機器開発推進研究事業
開発途上国・新興国等における医療技術等実用化研究事業

3、**革新的医療技術創出拠点プロジェクト**

革新的医療シーズ実用化研究事業

4、**再生医療の実現プロジェクト**

再生医療実用化研究事業

5、**疾病克服に向けたゲノム医療実現プロジェクト**

ゲノム創薬基盤推進研究事業
臨床ゲノム情報統合データベース整備事業

6、**ジャパン・キャンサーリサーチ・プロジェクト**

革新的がん医療実用化研究事業

7、**脳とこころの健康大国実現プロジェクト**

認知症研究開発事業
障害者対策総合研究開発事業（脳とこころ）

8、**新興・再興感染症制御プロジェクト**

新興・再興感染症に対する革新的医薬品等開発推進研究事業

9、**難病克服プロジェクト**

難治性疾患実用化研究事業

その他（厚生労働科学に係る医療分野の研究開発）

地球規模保健課題解決推進のための研究事業 うち国際課分
地球規模保健課題解決推進のための研究事業 うち厚生科学課分
成育疾患克服等総合研究事業
循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策実用化研究事業
女性の健康の包括的支援実用化研究事業
腎疾患実用化研究事業
免疫アレルギー疾患実用化研究事業
移植医療技術開発研究事業
慢性の痛み解明研究事業
エイズ対策実用化研究事業
肝炎等克服実用化研究事業
長寿科学研究開発事業
障害者対策総合研究開発事業（その他）
「統合医療」に係る医療の質向上・科学的根拠収集研究事業
臨床研究等 ICT 基盤構築・人工知能実装研究事業

次期医療分野研究開発推進計画について

健康・医療戦略における目標からみた新たなアプローチへの転換

未来

世界に先駆けて超高齢社会を迎える我が国にあって、課題解決先進国として、健康長寿社会の形成に向け、世界最先端の医療技術・サービスを実現し、健康寿命(健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間)を更に伸ばす

C. 疾患領域

- ①がん、②生活習慣病(循環器、糖尿病等)、③精神・神経疾患、④老年医学・認知症、⑤成育、⑥難病 ⑦感染症(AMR含む) 等

B. モタリティ領域

- ①医薬品、②医療機器・ヘルスケア、③再生・細胞医療、遺伝子治療、④ゲノム・データ基盤、⑤研究開発基礎基盤

A. 開発目的

健康増進・予防

- (例)
- コホート研究による疾患発症機序の解明と予防
 - ビッグデータ利活用
 - 認知症発症の発症機序の解明と予防 等

診断

- (例)
- 遺伝子解析等による個別化診断 等

治療・介入

- (例)
- 革新的医薬品等開発
 - 医療機器等開発(リハビリ含む)
 - 細胞・遺伝子・再生医療 等

老化、予後、QOL改善

- (例)
- 介護・生活支援ロボット
 - BMI技術、IT技術開発
 - 感覚器疾患治療・補助療法
 - 緩和医療・ケア 等

民間企業の参入・市場創出

現状

①平均寿命の延伸

②平均寿命と健康寿命の差の縮小

平均寿命

80.98

健康寿命

72.14

3

8.84年

- アンケート等の結果を踏まえ、新プロジェクトは、開発目的(予防、診断、治療、予後・QOL)毎の特性を生かした技術モダリティ等に基づく5領域(5プロジェクト)とし、その技術等をより効率的に疾患研究に応用・展開することとしたい。

調査等結果を踏まえたプロジェクト

1. 医薬品
2. 医療機器・ヘルスケア
3. 再生・細胞医療・遺伝子治療
4. ゲノム・データ基盤

政策的に取り上げるプロジェクト

5. 研究開発基礎基盤

+

- プロジェクトと併せて、わが国において社会課題である疾患分野に係る研究開発の状況を把握する観点から、以下の7疾患について予算規模等を確認することとしたい。
- その際にも、モダリティ等のみならず、開発目的(予防、診断、治療、予後・QOL)を明確化することとしたい。

調査等結果を踏まえた疾患

1. がん
2. 生活習慣病(循環器、糖尿病等)
3. 精神・神経疾患
4. 老年医学・認知症
5. 難病

政策的に取り上げる疾患

6. 成育
7. 感染症 (AMR含む)

+